



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月1日

上場会社名 塩野義製薬株式会社
 コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 岸田 哲行
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日 平成22年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東大

TEL 06-6202-2161

平成22年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	143,366	8.1	19,228	7.8	17,696	7.9	6,862	△40.8
22年3月期第2四半期	132,639	26.3	17,838	△3.4	16,397	△13.6	11,591	△2.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	20.49	—
22年3月期第2四半期	34.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	516,775	326,309	63.1	973.19
22年3月期	540,761	341,976	63.2	1,019.71

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 325,923百万円 22年3月期 341,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
23年3月期	—	20.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,000	1.6	54,000	3.0	51,500	1.9	30,000	△22.3	89.58

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	351,136,165株	22年3月期	351,136,165株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	16,232,848株	22年3月期	16,231,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	334,903,958株	22年3月期2Q	334,924,355株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の医薬品業界は、国内におきましては、本年4月に業界平均6.5%の薬価改定が実施され、一方で、グローバル製品の特許切れ問題などもあり、市場の競争はより一層厳しくなっております。米国におきましても、経済情勢は芳しくなく、医療費に対するネガティブな風は強くなってきております。

このような状況におきまして、当社グループは、本年3月に第三次中期経営計画を発表し、今後5年間の取組みを定めました。国内医療用医薬品では、高コレステロール血症治療薬「クレストール」、高血圧症治療薬「イルベタン」、及び本年4月に発売しました抗うつ薬「サインバルタ」の3品目を最重点品目とし、取組みの集中度を増加させ、市場シェアを拡大させてきました。一方、グローバル化の第一歩として取り組んでまいりました米国事業におきましては、第1四半期において業績が悪化し、事業の立て直しの必要性に迫られました。米国事業のより効率的な運営を目指し、人員削減を含めたコストカットを実施するとともに、販売品目や開発品目の見直しを実施し、一定の売上、利益を確保する事業体質への転換に取り組んでおります。今年度に発生しております事業構造改善費用や減損損失などの特別損失は、それらの取組みの結果であります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,433億66百万円、営業利益192億28百万円、経常利益176億96百万円、四半期純利益68億62百万円でした。売上面では、国内医療用医薬品において「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」が大きく増加し、がん疼痛治療薬「オキシコンチン/オキノーム」、外用尋常性ざ瘡治療剤「ディフェリン」、特発性肺線維症治療薬「ピレスパ」などの戦略品も増加し、薬価改定や市場の縮小の影響などによる抗生物質を中心とした減少分をカバーし、医療用医薬品全体の売上高は前年同期比0.6%の増加となりました。その他では、アストラゼネカ社による海外での「クレストール」の販売増により「ロイヤリティ収入」が大きく増加しました。米国事業においては、平成22年4月～9月の前年比較では大きく減少しましたが、決算期変更により同年1月～3月の売上が加わっており、決算ベース（9ヶ月）での前年同期比較では増加となっております。一方、前年同期には武州製薬㈱の売上が含まれておりましたが、本年3月末の同社の売却により減収要素となっております。これらを合わせた全体の連結売上高は、前年同期比8.1%の増となりました。

利益面におきましては、米国事業においては、当第2四半期連結累計期間にて赤字となりましたが、米国以外の事業につきましては、ほぼ予定どおりの利益目標を達成しました。これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比7.8%の増となり、経常利益も前年同期比7.9%の増となりました。四半期純利益は、米国事業に係る特別損失64億6千8百万円の計上があったため、前年同期比40.8%の大幅減となりました。なお、米国事業が決算期変更で9ヶ月決算としたことによる影響を除いた場合、売上高が0.6%増、営業利益が11.3%増、経常利益が11.5%増、四半期純利益が35.2%減となります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は5,167億75百万円で、前連結会計年度末と比べて239億86百万円減少しました。流動資産は、前連結会計年度末より90億77百万円減少し、2,415億86百万円となっております。固定資産は、無形資産の償却及び為替変動による目減り、投資有価証券の時価の下落により減少し、前連結会計年度末より149億8百万円少ない2,751億88百万円となっております。

負債合計は1,904億65百万円で、前連結会計年度末と比べて83億19百万円減少しました。流動負債では、666億69百万円で前連結会計年度末とほぼ変わらず、固定負債では、投資有価証券の時価の下落に伴う繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末より81億59百万円減少し、1,237億96百万円となっております。

純資産合計は3,263億9百万円で、前連結会計年度末と比べて156億66百万円減少しました。株主資本は、四半期純利益による増加や、配当金の支払による減少などにより、前連結会計年度末より8億31百万円増加し、3,552億75百万円となっております。また、評価・換算差額等は、投資有価証券の時価の下落による含み益の減少、円高による為替換算調整勘定のマイナスが増加し、前連結会計年度末より164億13百万円少ない△293億52百万円となっております。これにより、自己資本比率は前連結会計年度末の63.2%から63.1%となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、309億47百万円の収入になりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益115億7百万円、減価償却費99億80百万円、売上債権の減少128億58百万円などによる収入や、たな卸資産の増加13億94百万円、法人税等の支払額136億84百万円などによる支出であり、前年同期に比べ103億17百万円の収入増でした。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出81億50百万円を中心に、合計163億72百万円の支出となり、前年同期に比べ110億84百万円の支出増でした。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金の返済70億円の支出、配当金の支払60億18百万円を中心に、131億73百万円の支出となり、前年同期に比べ212億24百万円の支出増でした。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は9億9百万円の減となり、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、967億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年10月22日発表の業績予想を変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち在外連結子会社は10社であります。在外連結子会社のうち1社の決算日は12月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては、12月31日現在の財務諸表を使用しております。連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

なお、当連結会計年度より、シオノギINC.（シオノギUSAホールディングス、INC. は平成22年7月にシオノギINC. に商号変更しております。）他8社は、決算日を連結決算日に変更しました。

この変更により、連結子会社9社については平成22年1月1日から平成23年3月31日までの15ヶ月決算となっております。

この決算期変更に伴い、当第2四半期連結損益計算書は、平成22年1月1日から平成22年9月30日までの9ヶ月間を連結しており、従来と同一の基準に比べて、売上高は9,869百万円増加、営業利益は621百万円減少、経常利益は585百万円減少、税金等調整前四半期純利益は1,033百万円減少、四半期純利益は644百万円減少しております。

2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、第1四半期連結会計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,904	33,532
受取手形及び売掛金	65,938	79,414
有価証券	72,000	70,677
商品及び製品	25,691	26,931
仕掛品	14,607	14,058
原材料及び貯蔵品	10,165	8,350
その他	18,291	17,710
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	241,586	250,664
固定資産		
有形固定資産	65,793	62,447
無形固定資産		
のれん	60,982	69,874
その他	47,409	49,190
無形固定資産合計	108,392	119,065
投資その他の資産		
投資有価証券	65,840	71,870
その他	35,283	36,835
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	101,002	108,584
固定資産合計	275,188	290,097
資産合計	516,775	540,761
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,796	13,400
1年内返済予定の長期借入金	14,000	14,000
未払法人税等	10,023	13,479
賞与引当金	6,554	6,473
その他の引当金	1,199	1,316
その他	21,095	18,159
流動負債合計	66,669	66,829
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	70,000	77,000
退職給付引当金	8,353	8,077
その他	15,442	16,878
固定負債合計	123,796	131,955
負債合計	190,465	198,785

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	333,504	332,669
自己株式	△19,735	△19,733
株主資本合計	355,275	354,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,761	10,362
為替換算調整勘定	△36,114	△23,301
評価・換算差額等合計	△29,352	△12,939
少数株主持分	386	471
純資産合計	326,309	341,976
負債純資産合計	516,775	540,761

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	132,639	143,366
売上原価	36,861	39,057
売上総利益	95,778	104,308
販売費及び一般管理費	77,939	85,080
営業利益	17,838	19,228
営業外収益		
受取利息	219	237
受取配当金	648	696
その他	278	272
営業外収益合計	1,145	1,205
営業外費用		
支払利息	897	767
寄付金	703	568
為替差損	—	889
その他	985	512
営業外費用合計	2,586	2,737
経常利益	16,397	17,696
特別利益		
債務免除益	—	279
特別利益合計	—	279
特別損失		
事業構造改善費用	—	3,323
減損損失	—	3,145
投資有価証券評価損	47	—
特別損失合計	47	6,468
税金等調整前四半期純利益	16,350	11,507
法人税、住民税及び事業税	6,499	8,981
法人税等調整額	△1,747	△4,359
法人税等合計	4,752	4,622
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,884
少数株主利益	7	22
四半期純利益	11,591	6,862

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,350	11,507
減価償却費	8,656	9,980
減損損失	—	3,145
のれん償却額	1,904	2,722
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△867	△933
支払利息	897	767
為替差損益(△は益)	259	670
売上債権の増減額(△は増加)	2,488	12,858
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,556	△1,394
仕入債務の増減額(△は減少)	△778	502
その他	5,032	4,651
小計	29,385	44,477
利息及び配当金の受取額	881	931
利息の支払額	△730	△776
法人税等の支払額	△8,907	△13,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,630	30,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,487	△2,158
定期預金の払戻による収入	2,177	2,217
有価証券の取得による支出	△464	△10,031
有価証券の売却及び償還による収入	2,342	8,042
有形固定資産の取得による支出	△4,260	△8,150
有形固定資産の売却による収入	5	11
投資有価証券の取得による支出	△3,711	△2,934
投資有価証券の償還による収入	5,000	—
貸付金の回収による収入	97	1
その他	△3,987	△3,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,288	△16,372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	—
長期借入れによる収入	337	—
長期借入金の返済による支出	△7,000	△7,000
社債の発行による収入	30,000	—
配当金の支払額	△4,688	△6,018
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△594	△152
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,051	△13,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	383	△2,310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,776	△909
現金及び現金同等物の期首残高	51,536	97,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,312	96,754

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品及びその関連する事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	113,405	18,370	863	132,639	—	132,639
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	146	1,638	27	1,812	(1,812)	—
計	113,552	20,009	890	134,452	(1,812)	132,639
営業利益	18,867	669	205	19,743	(1,904)	17,838

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	23,037	22,505	2,102	47,644
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	132,639
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.3	17.0	1.6	35.9

[セグメント情報]

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売ならびにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当する事項はありません。